

1991 年度土地制度史学会秋季学術大会（於 広島大学）

第1日 10月5日（土）

1. 自由論題報告

第1会場 文学部大講義室（2階） 10：00～16：30

1. DDRの経済とコンビナート 京都大学大学院 北村 喜義
2. 中国社会主義制度改革の過程 長野大学 菅沼 正久
3. グスタフ・カッセルと再建金本位制 名古屋大学大学院 杉沢 一美
4. 戦後低賃金の基礎構造－戦後低賃金構造と零細農耕－ 千葉大学 吉田 義明
5. 韓国における農地賃貸借関係の実存形態とその現段階的性格－韓国資本主義論争における「再生小作制」論にかかわって－ 日本農業研究所 加藤光一

第2会場 法学部経済学部大講義室（2階） 10：00～16：30

1. 日本の飼料産業の現段階 京都大学大学院 村上 良一
2. 戦後イギリスにおける農業生産力の発展 国女子大学 溝手 芳計
3. 1980年代穀物過剰下のパリ盆地穀作経営の動向 駒沢大学 清水 卓
4. 現代フランスにおける穀物の生産・流通構造の特徴  
－パリ盆地・シャンパーニュ地方を手掛かりに－ 名古屋外国語大学 石月 義訓
5. EC加盟後のスペイン南部農業の現状－コルドバの実態調査を中心として－ 拓殖大学 中川 功

第3会場 法学部経済学部134号教室（1階） 10：00～16：30

1. 明治後期における織物業の発展と力織機生産の成立－その産業編成上の意義－ 岡山大学 神立 春樹

2. 耕作地主の展開構造—長野県川中島地方中沢家を事例として—

日本女子大（非常勤） 福田はぎの

3. 植民地期における朝鮮・日本間の資金流出入

東京大学大学院 金 洛年

4. 1930年代朝鮮における農産物市場の諸条件の変化と農業生産・農民経営

—都市近郊における野菜作の拡大—

京都大学大学院 朴 ソフ

5. 戦時体制下のソ連沖合漁場出漁—兵庫県・香住港「機船底曳網漁業」の事例から—

岐阜市立女子短期大学 田中 正紀

第4会場 法学部経済学部137号教室（1階） 10:00～16:30

1. 近世カステーリヤ農村史における所謂人口<係数>問題への実証的接近

札幌大学 五十嵐一成

2. 絶対王政期クールマルクの農村税制

山形大学 山崎 彰

3. 「ナショナル・ポリシー」関税の意図と効果—1877-90年間のカナダの輸入貿易構造—

カナダ・ヨーク大学大学院 安達 清昭

4. イギリス老齢年金制度の成立過程—政策原理および国家・地方財政の視点から—

東北学院大学 吉岡 昭彦

5. 両大戦間期フランスにおける大衆貯蓄と財政投融资—預金供託金庫の経営動向を中心に—

東京大学大学院 矢後 和彦

2、総会 文学部大講義室 16:30～17:30

3、懇親会 広島国際会議場 18:00～20:00

第2日 10月6日（日）

共通論題報告 文学部大講義室 9:30～17:00

戦後日本資本主義の形成過程—ドイツとの対比—

報 告

1. 財閥から企業集団・企業系列へー1940年代後半における企業間結合の解体・再編過程ー  
電気通信大学 鈴木 邦夫

2. ドッジラインの歴史的意義  
成城大学 浅井 良夫

3. ドイツにおける戦後改革ーその主体的要因を手がかりに  
立正大学 永岑三千輝

討 論

司 会

東京大学 原 朗  
立教大学 疋田 康行  
東京大学 廣田 功